

障害者のための「インクルーシブ防災の手引き」

「自然災害から身を守る知恵」

加賀市身体障害者福祉協会

【A. 目的と今後の進捗予定】

1. 目的

★障がいを持つ私たちは、一連の災害に対し、自分の生命と財産を守る工夫について考え、どうしても出来ないことは社会や行政に訴える手段を構築します。

2. 今後の進捗予定

★障害者分科会でご意見をいただきながら、この手引きの最終案を作成していきます。

【B. 災害全般への工夫】

3. 普段からの準備（自助努力）

①居住地域のハザードマップを確認した上で、前もって避難場所や家族間の集合場所を確認しておく。

②住宅の耐震性を確保する。家具や瓦・雨樋を固定し、避難経路の障害物にならないようにする。

③持ち出しリュックを準備する。また、どこに置いてあるのか事前に確認しておく。

発災時は、障害者手帳や障害福祉サービス受給者証も持って避難する。

④在宅避難も考慮し、備蓄品を準備する。

⑤災害発生時に自分の状況を家族や知人に知らせ、家族の安否を確認する方法を確認しておく。

⑥防災メールや見守り支え合いネットワーク制度に登録する。

★障がい種別や個々の障がい者により自助努力できることが異なるが、第一として自助が不可欠である。

4. 近所の人や、地域住民との連携（互助・共助）

①普段から近所の人との交流

②見守り支え合いネットワーク制度への登録や日々の交流を通じ、民生委員と顔が見える関係を構築する。

③防災メールや見守り支え合いネットワーク制度への登録を会員間で促す。

5. 公助については市と別途協議していく。